

草津警察署協議会議事録

開催日時	令和6年12月17日（火）午後3時～午後4時30分
開催場所	草津警察署 5階大会議室
出席者	委員 佐藤亮委員（会長）、奥野美紀委員（副会長）、奥村厚子委員、竹内雅和委員、田中和子委員、宇野良彦委員、勝山圓昭委員
	警察 四谷署長、後藤副署長、大野地域官、辰巳刑事官、村上調査官（会計課長）、木林調査官（警務課長）、片岡調査官（交通第一課長）、永井刑事第一課長、木村刑事第二課長、岩崎警備課長
議事概要	<p>1 会長挨拶</p> <p>会長から「先日は、歳末警戒激励式に出席し、草津署員の勇ましい姿を拝見させていただき感謝する。今日は、今年最後の協議会ということで、しっかり締めて、年末年始を迎えることができればと思っております。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>2 署長挨拶</p> <p>署長から「当署管内は、12月に入り飲酒運転による交通事故が2件発生したが、凶悪事件等の発生はなく、平穏に推移している。一方、今年の秋頃から闇バイトによる凶悪事件が関東地方を中心に発生し、いわゆる「トクリュウ」と言われる犯罪は、当署管内においても住民の不安が相当高まっており、闇バイトを含む不審者情報に関する警察安全相談の件数が急増している。本日は「警察安全相談への対応について」を議題としており、委員の皆様からの御意見を賜りたい。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>3 報告</p> <p>前回協議会において提言のあった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車利用時の乗車用ヘルメット着用率向上に向けた取組について ・特定小型原動機付自転車の安全利用に向けた取組について <p>に対する取組結果及び秋の全国交通安全運動期間中の自転車に対する指導警告件数等について、警察から報告があった。その際、委員から「この場での提言が生かされ感謝する。」旨の発言があった。また、委員から「自転車教育に夜間のライト点灯を入れると事故防止につながるのではないか。」旨の提言がなされ、警察から「県下の自転車事故の約3割が当署管内の事故であり、無</p>

灯火走行への対応も重要な課題であり、ながら運転や酒気帯び運転への指導、取締りも含めた指導・警告をしっかりと行っていく。」旨の説明がなされた。

4 議事

(1) 警察署協議会代表者会議の出席結果について

会長から、警察署協議会代表者会議への出席結果として、「警察本部各部の運営方針及び活動状況等の概要について」報告がなされ、また、「私からは、議事に関する質問が難しいと、委員が戸惑う傾向にあるため、具体例をあげるなど、内容を切り崩すと何気ない疑問や意見が出やすいと感じる旨発表したところ、警察から、そのような疑問は実は警察署にとって必要な意見であるとのコメントをいただいた。」旨の報告があった。

(2) 警察安全相談への対応について

警察から、警察安全相談の意義及び傾向、草津署における現状等について説明がなされた。その際、委員から「相談内容が犯罪の端緒や未然防止につながるのと、個人の都合等、警察で対応する線引きが難しい相談もあるのではないか。」、「犯罪被害者の相談窓口を経験したが、行政、福祉も相談機関の連携が非常に大事と感じた。」旨の意見があり、警察から「どのような相談でもしっかりと話を聞くことが大切であり、中には30分話を聞いてもらったことで納得される方や、専門的な判断が必要で専務係と一緒に相談を受ける場合、また、必要に応じて市や学校等と連携して対応する場合がある。」旨の説明がなされた。

また、委員から「警察での相談窓口のことを初めて教えていただいた。警察に身近な困り事の相談ができることが分かり、会社や知人にも周知できればと思う。」旨の発言があり、警察から「不審者情報は何百件とあり、普段見かけない車が止まっていて被害に遭うのではないかと心配との相談も多数あるので、是非、より多くの方に相談窓口を紹介していただきたい。」旨の説明がなされた。

5 次回協議会の日程

次回協議会は、2月26日（水）に開催予定で、協議テーマについては、会長に一任された。